

## 第 64 回 理 事 会 議 事 録

1. 日 時 令和 2 年 9 月 29 日 (火) 13 時 00 分～15 時 00 分
2. 場 所 Web 会議 (ZOOM システム) 日本私立薬科大学協会事務局
3. 出席者
- |       |        |        |  |
|-------|--------|--------|--|
| 会 長   | 井上 圭三  |        |  |
| 副 会 長 | 後藤 直正  | 楠 文代   |  |
| 常務理事  | 中村 明弘  | 灘井 雅行  |  |
|       | 浜岡 純治  | 加留部 善晴 |  |
| 理 事   | 亀井 美和子 | 元木 和幸  |  |
|       | 田中 芳夫  | 堅田 利明  |  |
|       | 越前 宏俊  | 津田 裕子  |  |
|       | 宮田 興子  | 篠塚 和正  |  |
| 監 事   | 富田 基郎  | 市川 厚   |  |
| 参 与   | 乾 賢一   | 本間 浩   |  |

### 4. 議事の経過の要領及びその結果

会議に先立ち、井上会長から、会長指名理事として就任した亀井美和子理事（帝京平成大学薬学部長）の紹介があった。

引き続き、定款の規定に基づき井上会長が議長に就任し、本日の出席理事が 15 名であり、定款に定める定足数を満たしており、本理事会が有効に成立していることが宣言された。

また、議事録署名人として出席理事から、津田理事を指名し、事務報告の後、直ちに議案の審議に入った。

#### (1) 前回議事録の確認について

前回議事録（第 63 回理事会：令和 2 年 7 月 7 日開催）について、全会一致でこれを承認した。

#### (2) 役員（理事）の補充人事について

井上会長から、令和 2 年 6 月 30 日付で辞任した伊藤智夫理事（北里大学学長退任）の後任について、令和 2 年度理事選挙の結果に基づき資料 3 のとおり、高柳元明 東北医科薬科大学理事長・学長を理事候補者として旨提案があり、協議の結果これを承認し、11 月 24 日（火）開催の第 2 回通常総会に諮ることとした。

### (3) 広報誌「6年制薬ガイド2022」の刊行について

井上会長（広報誌編集委員会委員長）から、資料4に基づき9月11日（金）に開催した第1回広報誌編集委員会において、今回発行する広報誌の具体的な掲載内容（在宅医療及び救急領域にかかわる薬剤師を取り上げること、コアカリキュラムに基づく大学での学び、掲載する研究室の紹介等）について、意見交換を行った旨の報告があった。

### (4) 薬学教育協議会について

本間参与（薬学教育協議会代表理事）から、資料5に基づき、薬学教育協議会第10期役員（代表理事：本間 浩）の報告があった。

### (5) 薬学教育第三者評価について

資料6（岐阜医療科学大学の新規加入）について報告があった。

### (6) 薬剤師国家試験問題検討委員会について

井上会長から、本年度開催予定の「医道審議会薬剤師国家試験事後評価部会」については、新型コロナウイルス感染防止の観点からメールによる持ち回り開催（書面審議）で実施することとなり、本協会から提出した「第105回薬剤師国家試験問題の検討結果」については、参考資料として委員全員に送付し、9月上旬に事後評価部会を終了した旨の報告があり、これを了承した。

### (7) 令和3年度主要会議開催予定について

小池事務局長から、資料7に基づき令和3年度理事会・総会等の開催予定について説明があり、これを了承した。

関連して、井上会長から本年11月に開催する理事会・総会等の取り扱いについて下記のとおり提案があり、了承された。

#### ◎ 11月4日（水）

- ・教育賞受賞者選考委員会 11：00～ ZOOM会議により実施する。
- ・第65回理事会 13：00～ ZOOM会議により実施する。

#### ◎ 11月24日（火）

- ・第66回理事会 11：00～ 対面及びZOOM会議により実施する。
- ・第2回通常総会 13：00～ ZOOM会議を原則とし、ZOOM・ホスト会場に参加も可能とする。  
各大学から1名のZOOM会議参加
- ・教育賞授与式 16：45～ ZOOM・ホスト会場で実施
- ・情報交換会 実施しない

## (8) その他

### (1) 「本協会における PCR 検査に関する検討会」について

市川先生ご提案の PCR 検査の新しい取組については、本協会に検討会を設け、その検討状況について後藤委員長から、資料 8 に基づき以下のとおり報告があった。

「本協会では本検査のためのセンターを設置することは、人的及び運営的負担から解決できる課題とは考えられない。また、薬学として実習に出る学生の保証をするのなら本協会でもセンターを設置しなくとも、各大学と検査会社とのタイアップによって行うことは可能である。

しかし、ご提案の検査手法は新しい画期的な方法であり、本方法によって検査を実施する大学がある可能性もあることから、本協会から加盟大学へ情報提供し、関心がある場合は市川先生に問い合わせさせていただくこととした。」

次いで、本報告をもとに意見交換の結果、委員会の提案を了承した。

なお、市川先生に対し、本検査法のさらなる詳細情報及び具体的な取組みについて提案をお願いしたい旨の依頼があった。

### (2) 「6 年制薬学教育制度調査検討委員会」の検討状況について

井上会長から、取り組むべき課題は「①モデル・コアカリキュラム改訂に向けた調査・研究②薬学研究科 4 年制大学院の在り方について」であり、これらの課題に向けて現状及び問題点の抽出を行っている旨の報告があった。

## 5. その他

### ○「第 5 回日本薬学教育学会大会」について

乾参与(日本薬学教育学会理事長)から、令和 2 年 9 月 12 日(土)、13 日(日)の両日、帝京大学薬学部において Web 開催された「第 5 回日本薬学教育学会大会」について報告があった。

### ○「第 2 回薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会」(厚生労働省)について

井上会長から、本検討会が 9 月 11 日(金)に開催され、薬学教育、薬剤師の需給、定員問題等について検討が行われている旨の報告があった。

議長は、以上をもって議案の全部の審議を終了した旨を述べ、15時00分閉会を宣言した。

以上の議決を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事(指名された議事録署名人)、監事がこれに署名捺印する。

令和 2 年 10 月 16 日

一般社団法人 日本私立薬科大学協会

議 長 井 上 圭 三  
(押 印 済)

出 席 理 事 津 田 裕 子  
(議事録署名人) (押 印 済)

出 席 監 事 富 田 基 郎  
(押 印 済)

出 席 監 事 市 川 厚  
(押 印 済)